

セットの操作

セットの操作のトレーニングへようこそ。付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。このトレーニングは、「セットの作成」トレーニングの続きです。

セットの編集

セットは編集することができますが、何を編集できるかはセットの作成方法に応じて異なります。

マークから作成されたセットの場合、例として [LATAM 法人] を右クリックして [セットの編集] を選択すると、メンバーとなるための必要条件がリストで表示されます。この場合にできるのは、個々の条件の削除だけです。作成済みのこのセットにメンバーを追加することはできません。しかし、必要な新しい条件で別のセットを作成して、このセットと結合することはできます。

次に、計算から作成されたセットの場合、たとえば [名前に "A" が付く顧客] を右クリックして [セットの編集] を選択すると、セットを作成したときと同じダイアログが表示されます。このようなセットは、編集して保存することができます。

さらに、セットを結合して作成されたセットの場合は、右クリックして [セットの編集] を選択すると、結合のダイアログが表示されます。このようなセットも、編集して保存することができます。

IN/OUT とメンバー

セットは他のフィールドと同じように使用できますが、IN/OUT とメンバーを切り替えることもできます。既定では、セットをたとえば [色] のビューにドラッグすると、セットに含まれるかどうかでマークに異なる色が付けられます。では、セットの前にある色アイコンをクリックして [詳細] に変更してみましょう。そして、フィールドを右クリックして [セットのメンバーを表示] に変更すると、セットのメンバーだけが表示されるようになり、[フィルター] シェルフを見れば、実際はそのセットでフィルタリングしていることがわかります。

セットとフィルター

セットは、フィルタリングの結果と同じようなものと考えることができます。データのサブセットをセットにしておくことと便利な場合や、頻繁に使うフィルターの組み合わせがある場合は、毎回フィルタリングを行うのではなく、フィルタリングの結果から実際にセットを作成して、そのセットのメンバーを使用するといいかもかもしれません。セットを作成する際、[フィルターシェルフに追加] オプションを選択すると、すぐにセット内のメンバーだけでフィルタリングできます。これは、[セットのメンバーを表示] を選択したときと同じ動作です。また、1 つのフィルターからセットを作成する場合は、[フィルター] シェルフでフィールドを右クリックして [セットの作成] を選択します。なお、他のフィルターをすべて削除しても、このセットだけでまったく同じフィルタリング結果が得られます。

階層と計算でのセット

セットは、グループと同じように階層に追加することができます。[LATAM 法人] を [製品] 階層にドラッグしてみましょう。そして、棒グラフをドリルダウンすると、[IN] に棒が表示されているのは [中南米] だけであり、その小さな棒は法人の売上を表していることがわかります。また、セットは計算でも使用することができます。

ここでは、「A」で名前が始まる顧客のセットがあります。この顧客のみの利益を知りたい場合、必要なのはシンプルな計算だけです。まず、セットを右クリックして [計算フィールドの作成] を選択します。「A で始まる顧客名の利益」と名前を付け、シンプルな IF 文の式を書きます。「IF [名前に "A" が付く顧客] THEN [利益] END」です。この式は、顧客がセットに含まれているかどうかを調べ、含まれている場合はその顧客のオーダーによる利益を返します。

これはとても簡単な例ですが、他のフィールドと同じようにセットを計算で使うと、さらに効率的に分析を行うことができます。

最後に

セットの操作のトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。Tableau の使用方法について、引き続き無料のトレーニングビデオをご覧ください。